



食糧分野への貢献 持続可能な農業の推進

世界人口の増加に伴い、穀物需要は2000年から2050年にかけて約2倍の36億トンになると見込まれています。一方、世界の耕地面積はほとんど増加しておらず、人口増加に伴って一人当たりの耕地面積は減少を続けています。世界中の人々が食糧を手で、飢えることのない社会を実現するため、持続可能な農業の推進を当社にとっての重要課題と認識し、取り組んでいきます。



住友化学は

持続可能な農業の実現に向けて

世界中の人々が十分な食糧を持続的に入手できる社会を実現するためには、世の中の農業が持続的かつ効率的である必要があります。これに対し当社は、農業関連事業を通じて、様々な取り組みを進めています。

食糧を取り巻く課題

- 人口増加による食糧需要増加
- 一人当たり耕地面積の減少
- 気候変動による収量減少
- 世界的な化学農薬の登録規制の強化
- 消費者からの安全・安心な品質要求の高まり

当社のアクション

- 化学農薬**
安全・安心を追求した製品の開発・上市
- 種子処理**
殺虫剤、殺菌剤の種子へのコーティング
- バイオリショナル**
天然物由来の微生物農薬、植物生長調整剤、根圏微生物資材や、それらを用いて作物を病害虫から保護、作物の品質や収量を向上させるソリューションの提供
- 精密農業**
ドローンを活用した散布、土壌診断等
- メチオニン**
飼育対象動物の品質の向上と生産力向上

期待されるアウトカム

- 農作物の品質・単位当たり収量の向上
- 土壌保全
- 農作業の効率性・収益性向上
- 飼育対象動物の成長促進による供給量増加
- 農薬施用に伴い発生する環境負荷の低減

TOPICS

持続可能な農薬事業のため、化学農薬・バイオリショナルの二刀流を推進

当社は、化学農薬とバイオリショナルの両事業を保有することで、農薬ビジネスの強化を図っています。天然物由来農薬であるバイオリショナルは環境負荷が低いなどの長所を持つ一方、効果を示す防除対象が狭い場合がありますが、化学農薬も含めた幅広い製品構成により作物生産におけるニーズに応えることが可能です。また、両製品群を活用することで、作物管理体系の提案、混合剤の開発による新製品展開、抵抗性病害虫等の課題などについて多面的なアプローチが可能になります。

化学農薬とバイオリショナルの市場規模と成長率

	市場規模	成長率
化学農薬	600億ドル	約2%
バイオリショナル	70億ドル	10~15%